

英字 FGHIJ R 新 MS 戦記

G コマンダー

機体名	G コマンダー	画像
型式番号	RX-92L・A・SMF-92S	
英語名	G-COMMANDER	
所属	地球連邦軍	
パイロット	ミュウラー大尉	
装甲材質		
装備	専用マシンガングレネード小型爆弾(リバーズボマー)ビームキャノン×2 前部ビーム砲×2 上部ビーム砲×2 中射程ミサイルスモークディスチャージャー	
作品名	新 MS 戦記	
参考書籍	新 MS 戦記アンリミテッドクロスオーバーノートブック B-CLUB33 号、34 号	

内容

連邦軍の地上用重攻撃試作 MS。

この RX-92L・A・S (ランド・アーマー・システム) G コマンダー はガンダム型 MS を地上用要塞と化す計画のために試作されたものである。

基本となるガンダムは RX-93 V ガンダム だが、このシステム開発時点では RX-93 は完成を見ておらず、ニュータイプ用の装備を取り除いたほぼ同型のガンダム、RX-92 に外装されることになった。

L・A・S はニュータイプのパイロットが操縦するガンダム型 MS の機動力を軸として MS 師団の戦力を結集することを目的としており、その形態は F・A・S (フルアーマー・システム) というよりは地上要塞といった方がふさわしい。

後部ウェポンパックには、軽量の小型 MS (ジェガン・ライトアーマータイプ) が積載される計画もあったが、重量の問題で不可となり、中射程ミサイルが搭載された。

圧倒的な攻撃力と重装甲で、旧マ・クベ鉱山でジオンのフレデリック・F・ブラウン率いる部隊を壊滅に追い込むも、誤爆した核の中に消えている。

G コマンダー のアーマー上半部には 4 基の連装ビーム砲塔を装備し、前部のカバー中にはリバーズボマーなる爆弾が仕込まれている。

下半部は完全なホバーユニットであり、コマンダー本体はその上に座る形を取っている。

そして緊急時にはアーマーを強制排除することも可能である。

備考

後部ウェポンパックに積載する軽量の小型 MS という案は近藤氏のオリジナル世界で再現されている。

それに付随して MF-92S という型式番号の場合、そのオリジナル漫画での機体の型式番号であり、ガンダム作品の型式番号ではない。

判断時に注意が必要。

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	